

# 高1・高2日文共通課題 一国語系コンクール応募のススメー

## ①趣旨

高校1年生・2年生の夏休み期間を利用して、高校生向けコンクールに参加しよう。

コンクールに参加して、

・自分なりの問いを発見し、答えが決まっていない問いに向き合う力を身につけよう。

・国内外の大学進学に向けて、高校時代の学習・活動実績を明確にしよう。

※高校3年生の夏休みにコンクールに参加するのも良いのですが、日本国内の大学入試に向けた学習・活動実績としてそれを活かすのは困難です。出願締切の時期がコンクール結果の発表時期よりも早いことが多いからです。

## ②内容:

以下の5つのコンクールの中から、1つ選び挑戦してみましょう！（各コンクールの詳しい情報は横のQRコードをチェック）

### 1、第8回 五代友厚甲子園

主催：五代友厚プロジェクト since 2023 共催：奈良新聞社

概要：映画『天外者』を見る、もしくは本などを読み、あなたが感じた五代イズム(五代が伝えたかった事)をもとに以下のテーマで課題をつくり、考えを深める。

テーマ1「現在の国際情勢」 テーマ2「最先端技術」 テーマ3「上記1、2の両テーマを考察」  
チームで参加し、仮説を立て、検証し、発表するという探究課題に挑む。

QRコード



規定：1次審査…… レポートA42枚 もしくは 動画5分

2次審査…… 発表会(持ち時間10分)

主催者が設けた提出期限：参加表明 ～8月10日

第一次審査 ～8月31日

### 2、第25回 全国高校生・留学生作文コンクール

主催：拓殖大学、拓殖大学後援会

概要：「住み続けられるまちづくりを」をテーマにSDGsの観点からあなたの考えを書く。

まちづくりは様々な観点から考察可能なので、自らの関心に従って書くとよい(建築・少子化・シャッター街・観光……)

日本語を母語としない生徒は留学生部門での応募が可能。本校OB受賞者多数。

QRコード



規定：1200字～2000字以内の作文 手書き、PC両方とも可能

主催者が設けた提出期限：7月1日(土)～9月7日(木)

### 3、第15回 明治大学文学部読書感想文コンクール

主催：明治大学文学部

概要：課題図書から1冊選び読書感想文を作成

課題図書 A:『怒りの葡萄』(アメリカ文学の名作) B:『炎上社会を考える』(メディア論、現代社会)

C:『気流の鳴る音』(民族学・社会学の古典) D:『守銭奴』(古典喜劇)

E:『檜山節考』(古典、姥捨て山小説) F:『人間関係を半分降りる』(心理系、人間関係)

G:『忘却の河』(恋愛小説の古典) H:『みんなの「わがまま」入門』(社会運動、意見の伝え方)

I:『夢見る帝国図書館』(小説、歴史) J:『ロミオとジュリエット』(シェイクスピアの古典的名著)

受賞者多数(100名が入賞)で入賞者の作文は書籍化される。

小説から社会科学系まで多様な課題図書の中から関心に従って選び、本をもとに自己を見つめなおす機会にするとよい。

規定：PCで作成 1200字以内

QRコード



主催者が設けた提出期限：～7月31日 15:00まで 応募フォームへ提出

#### 4、JICA エッセイコンテスト 2023

主催： JICA(国際協力機構)

概要： テーマは「地球へ生きる私たち ～未来へつなげるために～」。

評価基準は、「世界の課題に関する理解、解決のための提案・行動を重視」することのこと。

入賞特典として「海外研修」があり、将来グローバルな場で活動したい人にお勧めできる。

規定： 手書きで作成 1600 字以内(原稿用紙 4 枚以内)

主催者が設けた提出期限： 6 月 7 日～9 月 13 日

QRコード



#### 5、第 67 回全国学芸サイエンスコンクール 作文・小論文部門

主催： 旺文社

概要： テーマは完全自由であり、参考文献を明記したうえで、自由なテーマのもと自分の意見を述べる。

本の引用が必須であるため、テーマに即した読書をした後、自分の見解を深める。

長い分量で自分の考えをじっくり深められる。 過去本校での受賞歴がある。

規定： 原稿用紙・PC 可能 原稿用紙 8～20 枚(3200 字以上)

主催者が設けた提出期限： 9 月 22 日締め切り

QRコード



#### 6、日本倫理・哲学グランプリ 2023

主催： 国際哲学オリンピック(IPO)日本組織委員会

概要・規定： 4つの課題文(哲学者の短い言葉)を読み、「哲学エッセイを書くにあたって」を参考にエッセイを書く。

入賞者は国際哲学オリンピック選考会への出場可能権を得られる。

課題文は  を参照！

QRコード



主催者が設けた提出期限： ～9 月 30 日

### ③学校での取り扱い：

(A)任意参加とします。ただし、できるだけ早い時期に、作品制作・コンクール応募をすることをお勧めします。

(B)1(五代友厚甲子園)はチーム参加の際、高1・高2合同チームで参加してかまいません。

(C)9 月初に状況確認をします。なお、主催者が設けた提出締め切りがまだの場合は、引き続き作成してかまいません。

(D)提出した作品を学校に提出した場合、2学期の平常点に加点します。

(E)分からないことがある場合や、相談したいことがある場合、1(五代友厚甲子園)に関しては森本新芽先生に、2～6は櫻井に相談ください。